

2021年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	福祉課
施設名	須坂市福祉会館		
所在地	須坂市大字須坂1218番地		
施設設置目的	障害者の福祉の増進と自立の促進を図る。		
施設概要・設備	第1会議室・第2会議室・訓練室・作業室・研修室 敷地面積 1,900㎡ 延床面積 794.27㎡		
建設年月	1986年4月	指定管理 開始年月	2006年4月

【指定管理概要】

指定管理者名	公益社団法人 須高広域シルバー人材センター		
指定期間	2021年4月1日～2026年3月31日		
業務内容	施設利用の許可等に関する業務、施設等の維持管理に関する業務		
職員体制	常勤:8名	非常勤:3名	合計:11名
(専門職、役職等内訳)			

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2019年度	2020年度	2021年度		
登録団体数	団体	-	28	27	27	100.0%	-
利用人員	延人数	-	18,460	9,034	12,374	137.0%	-
特記事項							

2 収支の状況

単位:円

指定管理者			市				
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額		
収入	指定管理料	3,527,000	3,527,000	収入	使用料・手数料		
	使用料・手数料						
	その他				その他		
	収入計	3,527,000	3,527,000		収入計	0	0
支出	人件費	180,000	180,000	支出	指定管理料	3,527,000	3,527,000
	需用費	1,530,000	1,695,713		修繕費		
	役務費	40,000	36,130		備品購入費		
	委託費	1,777,000	1,615,157				
	その他				その他		
	支出計	3,527,000	3,527,000		支出計	3,527,000	3,527,000
管理事業損益 (a)	0	0	管理事業損益	-3,527,000	-3,527,000		

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	0
---------------------------------	---

特記事項	なし
------	----

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	なし
--------	----

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)
			0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者アンケートを実施し利用者要望等を把握している。 ・年度末に利用者団体打合せ会議を開し施設利用アンケート用紙を配付。 ・利用者団体の85%程度の団体から回答を得ている。
②利用者からの声	(2) 調査等の結果
	<p>利用の手続、利用の安心性、施設的环境保持、施設の備品、職員対応についての5項目の設問に対し、備品関係は3分の1程度が不満であったが、以外の関係は概ね(78~91%)良好な評価を得ている。</p>
③対応措置	(1)良好とする評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物の直売があつて大変に嬉しい。 ・職員の対応が親切で良い。 ・綺麗に清掃されて気持ちよく利用できる。
③対応措置	(2) 苦情・改善の要望
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室のエアコン(冷房)の効きが弱い。 ・会議室にネットワーク(Wi-Fi)環境があると利便性が向上する。 ・予約希望日が重なつたので各団体の年間利用計画が年度初めに分かるとう有難い。 ・2階への階段に滑り止めを付けていただきたい。滑って転んだ。
③対応措置	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が必要な要望については、福祉課に伝えて対応をお願いしている。 ・現在は2か月前から予約を受付けており、重なつた場合は団体間で調整を願う。 ・階段には滑り止めも手すりも設置済みであるため注意喚起で対応したい。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	2
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	—	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	◎	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	3
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	◎	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 16 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

利用者が快適に利用できるよう施設の清掃や整理整頓、環境美化に努めました。前年度から引き続きコロナ対応やエレベーター工事による利用制限をさせていただいた期間があったものの特に苦情もなく利用していただきました。

(2) 課題

大規模改修工事により外壁やトイレは快適に利用されていますが、施設内の壁のクロスの剥がれの修繕や、照明器具のLED化など総合的な修理修繕がまだ必要です。また、図書室の冷房機や机・イスの更新、ネットワーク(Wi-Fi)環境などの要望があり、指定管理者のみでは対応できないことから、福祉課には常に現状把握をお願いしています。

(3) 次年度以降の取り組み

施設や備品などについては指定管理者で対応できない部分もあるが、利用者サービスなど、できる限り利用者に寄り添った管理運営に心がけていきます。また、消防計画に沿った訓練の実施や、自動ドア、エレベーター、消防設備の点検等により安心して利用できる施設管理を行っていきます。

福祉会館は、利用者が限定される施設であることから、利用できる団体には、積極的に利用していただけるよう案内をしていきます。

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

障がい者及び福祉団体が各種会議や研修会、レクリエーションや交流の場として利用することで、市民の福祉活動を促進するという会館設置の目的に基づき、シルバー人材センターとして地域社会の福祉の向上と活性化に取り組んできたノウハウを活かしつつ、福祉団体やボランティア団体の福祉活動の拠点としての機能を十分に発揮できるよう、適正な管理運営が行われている。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により長期間の利用休止を余儀なくされたが、施設利用者アンケートを実施するなど利用者要望の把握に努めており、今後も変化する利用者のニーズに対応し、施設の利用改善、利用者の増加につながるよう引き続き努めていきたい。